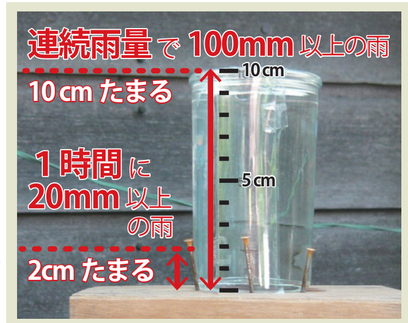
! 雨量に注意する習慣をつけましょう

気象予報などを見るときには、雨量にも気を配る習慣をつけましょう。自宅周辺の雨量を測ることで、自宅周辺の土砂災害の危険の高まりを把握しやすくなります。
右図の雨量が土砂災害発生の危険が高まる目安とされています。

高さ 10cm のカップ酒の瓶を使うと風で倒れにくく便利です



! 前ぶれ（予兆現象）に注意しましょう

がけ崩れの発生前には・・・


がけに割れ目が見える


がけから水が湧き出ている


がけから小石がぱらぱら落ちてくる

土石流の発生前には・・・


急に川の流れが濁り、流木が混ざっている


雨が降り続いているのに、川の水位が下がる


山鳴りがする

地すべりの発生前には・・・


沢や井戸の水が濁る


地面にひび割れができる


斜面から水が噴き出す

この他にも・・・

- 地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
- ものの腐ったようなにおい（腐葉土、下肥のにおい）がする
- 小動物が異常行動（騒ぐなど）をとる　など

! 情報を積極的に収集し、避難対応に活用しましょう

テレビ・ラジオ
※テレビのデータ放送は下記参照



市や気象庁のホームページ

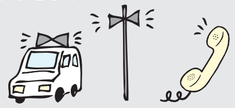


緊急速報メール（エリアメール）



いわてモバイルメール
※ QRコードから登録できます

防災行政無線・広報車・防災釜石広報 ☎ 0800-8003199
※防災行政無線の放送内容を電話で確認できます



家族、ご近所、お知り合いに聞くのも立派な情報収集！！


住民

自主防災組織（町内会）



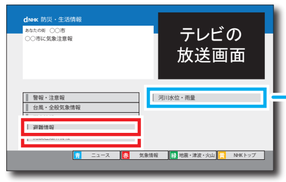
データ放送での確認方法　地デジテレビで NHK（地デジ1ch）を選択し、リモコンの d ボタンを選択

❶ 防災・生活情報を選択



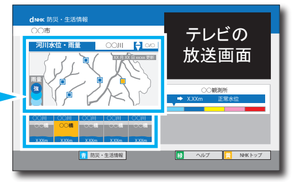
（テレビ画面イメージ図）

❷ 確認したい情報を選択



（テレビ画面イメージ図）

❸ 河川の水位・雨量を確認



（テレビ画面イメージ図）

大石町内会自主避難計画

大石町内会は、住民全員が雨の量や周辺の様子に注意し、地域で避難開始を判断して住民全員で避難する仕組みをつくりました。以下の項目をみんなで実践しましょう。

①　日頃からやっておくこと

裏面の防災マップを参考に、降雨時に確認できる予兆現象や、自宅周辺の避難場所（比較的安全と思われる場所や建物）、避難経路、住民間の連絡方法を確認しておきましょう。カップ酒の瓶等を用いて、雨量を計測する習慣をつけておきましょう。

②　雨が降り始めたら、自宅周辺の状況に注意を払う



●土砂災害が起こる目安の雨が降っていないか、家の外の様子を確認しましょう。
（※1 時間に 20mm、連続雨量で 100mm の雨で土砂災害が起こりやすいと言われています。）
●**避難開始の目安となる現象**が起きていないか、自宅周辺の様子を確認しましょう。

③ 自主避難基準 に達したら、町内会役員等に報告して、すぐに避難対応！



自主避難基準　以下のような状況になったら、自主避難を開始してください。

- □ 自主避難の基準 **が確認された**場合（洪水・土砂災害緊急避難地図を参照）
- □ **地域内のがけや沢で土砂災害の予兆現象（裏表紙に示す現象）が確認された**場合
- □ **釜石市役所が“避難準備・高齢者等避難開始”、“避難勧告”、“避難指示（緊急）”を発令した**場合

※上記以外の状況でも避難が必要と思う状況になった場合や、台風接近などで早い段階で大雨が予想される場合においても、身を守ることを第一に考えた避難対応をしましょう。

いざというときの避難対応　〃「早めの避難」が重要！ 避難に時間のかかる方は早めの行動が必要です〃

台風や深夜の大雨が事前に予測される場合	唐丹小学校・唐丹中学校 体育館
遠くまでの避難が困難な場合	比較的安全と思われる最寄りの建物・場所へ避難 →屋形地区の高台にある平地（個人所有の畑地）
移動に危険が伴う場合（すでに道路が冠水など）	がけや沢から少しでも離れた頑丈な建物の２階以上へ 状況によっては 自宅待機が最も安全な場合もあります 

この計画は、平成 28 年 10 月～12 月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて、大石町内会として検討したものです。裏面の地図に令和元年 10 月の台風 19 号被害状況を追加しました。

釜石市　唐丹地区
洪水・土砂災害緊急避難地図
大石町内会

現在の技術では正確な雨量予測や災害発生地の特定が難しいため、避難勧告等に依存しすぎず、**地域住民自らで危険に気づき、いざというときに避難の判断につなげる**ことが大切です。

住民懇談会で把握した情報

- 避難開始の目安となる現象
- 降雨時に確認される前兆現象
- 過去に発生した災害
- その他の事柄
- 比較的安全と思われる場所や建物

その他の地域情報

避難の目安
◆水路や側溝に流木や土砂が詰まり溢れそうになったとき

【連絡】
消防団巡回監視→（異常発見時）→
　戸別およびマイク放送で避難の声かけ

土砂災害の危険性

岩手県砂防基礎調査結果に基づく区域
- **土砂災害の危険性が特に高い区域**
- **急傾斜地崩壊の危険性が高い区域**
- **土石流の危険性が高い区域**

岩手県による土砂危険区域
- **がけ崩れの発生するおそれのある区域**
- **土石流の発生するおそれがある区域**

その他の危険性

- **平成 23 年東北地方太平洋沖地震津波の浸水範囲**

この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の空中写真及び基盤地図情報を使用した。（承認番号　平 28 情使、 第 618 号）

0　100　200　300　400 m

N

暗渠が石で塞がれ水が溢れた。
【令和元年台風19号】

屋形地区高台
（個人の畑）

50 年前土砂崩れあり
対策済み

土石が市道に溢れた。
（相当の量と距離）
【令和元年台風19号】

土砂崩れにより道路が寸断された。
【令和元年台風19号】

それほど強くない雨で土砂崩れあり（38 年前）
現在擁壁あり

土砂崩れあり（50 年ほど前，民家被害なし）
10 年ほど前、それほど強くない雨でサラサラした土砂が出た

土砂崩れあり（50 年ほど前、民家被害あり）
現在、擁壁あり

石垣が崩れそう

側溝に流木や土砂が詰まり、
市道に溢れた。【令和元年台風19号】

水路に流木や土砂が詰まり
溢れそうになったとき

土砂崩れがあり、土砂が暗渠を
塞いで、水が溢れた（40 年前）

河川が増水し、 個人宅に溢れた
【令和元年台風19号】

河川擁壁の裏が陥没した。
【令和元年台風19号】

石垣が崩れたことがある
（４０年前）

川が濁ったので上流を見に行ったら、山が崩れていた
（15 年前）

側溝に流木や土砂が詰まり溢れそうになったとき

側溝に土砂が詰まりやすく、溢れやすい
幅が狭くなっている

大石地域交流センター
土砂災害の危険性が高い

平成29年3月作成
※令和元年台風１９号の被害を追加（令和２年３月）